1

1 児玉さんの話を聞いて、どう思われましたか。

・まさに話の通りだと思った。自分もこの地を終のすみかとするものです。

・ささえあいの精神の充実が益々必要と感じた。

・将来の老人人口への不安。現実の状況で日頃から心配に思っている内容でした。でも、どうすればよいか、解決策が見いだせませんでした。

・これからの現実が身に詰まる思いです。

・２０年後を考えなくてはならないと思います。

・近い将来に起こる現実を改めて考えさせられた。　・非常に参考になりました。

・在宅介護の難しさを実感しました。

・地域で支えあうことの難しさを実感しているこの頃の中で、どのように前に進んでゆけばいいのか悩んでいます。

・現実を把握できた。・現状について知ることができ良かったです。

・つつじが丘の「ささえあいの家」を地域の宝にするという提案がわかりやすかった。

・老々介護が当たり前になり、子ども達の距離が離れていく時代に近所の見守りが大切な事になりそうです。

・一人暮らしなのでたすけて欲しい時は本当に勇気がいると思います。

・年金制度ではないけれど、現在より生活も地域の環境もどんどん悪くなるのが目に見えています。その変化に対応できなくなるかもしれないと思います。

２、自分が病んだら、家族以外の地域の人にどうして欲しいですか

・具体的にはありません。・家族（夫しかいないので）に声をかけて欲しい。

・声かけ・日頃から近隣の人と親しくしていようと思っている。

・具合の悪い時に、声かけてくれる間柄でいたいと思っている。

・声かけ、手助けをしてほしいです。

・自分が現在年齢相応の健康状態を保っているので思い当たることはありません。

・さりげなく、３日に一回ぐらい声をかけてもらい手伝って欲しい事を伝えたい。「手伝ってほしいこと」の回覧を時々回し、私が来ますよ等の中継をする。市の広報のリサイクル、「使ってください、ゆずって下さい」の様な具合に。

・いざとなった時、やはり声をかけられないなと思う。元気なうちから声かけを習慣化したい。　声かけをして欲しい。買い物を手伝ってほしい。

・自分がいかにわがままな人間であるか熟知しているので地域の人にどのように支えていただけるか、自分がもっと謙虚にならねばと思っています。・

・やはり、迷惑をかけることはしたくないという気持ちが強いです。

・いいネットワークづくりが必要だと思います。

・できるだけ自分で生活したいと思うし、そのように努力していきたい。少なくとも家族でどうにかしたい。

３、どんなことをみんなでやるとよいですか。

・先日のボランティア会議に参加しました。微力ですが尽力したいと思います。

・ささえあいの家を活用し、何でも相談できる場所になればいいし、またなれるように努める。

・一歩でも進むこと。助けられることに慣れること。・ゴミ出し、家の前の掃除。

・あいさつ、嬉しかった時の報告、なにげないことも楽しく話す機会を隣近所の人とともにもちたいです。

・私は高齢のためやりたい事は多いですが、身体がついていきません。自分自身のことで精一杯です。最後の「できることを、できる人が、できる時にやる」という言葉が印象的でした。

・できることをできる分だけ支えあっていけばよいと思います。

・買い物代行。安否確認。

・本当に一人一人が必要な助けを求める時代になった時に初めて具体化できるようになると思います。そういう事が自分に起こらないと分からないと思います。

・「何気ない普段の会話がお隣やご近所の人と交わせる」そんな地域になればとよいと思います。そのために、外に出てご近所どうし話をする機会をふやす。

・先日のボランティア会議にたくさんの人が集まりました。この人たちが活動を始めたら、とってもいいまちになると思います。またボランティア仲間を増やしていき、誰もが助け合えるようにしたら、ここで安心して暮らせるようになると思います。

・誰もが身体が弱くなる。その時は、「困っています」「これこれを手伝って」と言えるようにしたいです。今、元気な私は、精いっぱいボランティアをしたいと思います。

・児玉さんは、まず何をすべきか。それは声かけだ。すなわちご近所を気遣うことだとおっしゃったことがとっても印象的でした。実行に移したいです。